



土偶【石神遺跡出土】

市教育委員会では、市内の学校に通う児童・生徒に小諸のことをより知ってもらうため副読本として「こもろヒストリー」を作製しました。ここでは、その一部を連載してお伝えしていきます。

HISTORY No.1

縄文時代から弥生時代にかけて 小諸で発掘された土器

▶縄文時代

今から約1万年前、小諸では浅間山の中腹にムラをつくっていました。現在の八満地域にあたる石神遺跡からは、多くの縄文土器・石器、呪術に用いたであろう道具が発掘されています。



【石神遺跡出土】

▶発掘された石器



【磨製石斧（小諸市出土）】



【石皿（千曲小学校蔵）】

▶弥生時代

弥生時代には、米作りが始まり人々の生活は大きく変わりました。新しい形の土器や鉄器等が作られていきましたが、小諸では弥生時代の遺跡はほとんど見つかっていません。

【弥生後期の土器（市立郷土博物館蔵）】

この時代の土器の多くは色が赤くぬられています。



ヒスイは、縄文時代からあこがれの宝石でした。日本では新潟県の糸魚川市を流れる姫川の上流でとれます。それが物々交換によって日本中に広がっていきました。

【大珠（久保田遺跡出土：耳取）】



小諸学
KOMORO GAKU

超大作

全12回

私が住むまち

小諸の歴史

K O M O R O
H I S T O R Y
歴史の なかに、 未来の ひみつが 横た わっている

こもろ未来プロジェクトシリーズ